

月 曜 日 ●		火 曜 日 ●		水 曜 日 ●		木 曜 日 ●		金 曜 日 ●				
0歳児クラスの保育教室 工藤佳代子 (東京家政大学 ナースリールーム)		2歳児クラスの保育教室 今井和子 (立教女学院短大元教授)		1歳児クラスの保育教室 芦澤清音 (帝京大学教授)		3歳児クラスの保育教室 佐藤佳代子 (浦田保育専門学校顧問)		4歳児クラスの保育教室 師岡 章 (白梅学園大学教授)				
人間世界への第一歩、産休明け児から在籍する0歳児クラスの保育は、保育者の専門知識と保育技術が鍵となります。「一人ひとりの子どもにとってふさわしい保育」を探求する0歳児保育の実際を学びましょう。		自我にめざめ、「ぼくはこうしたい」という願いやつもりと「思い通りにならない現実」とのズレに葛藤し、揺れ動きながらも、自分のことを受けとめてくれる大人を支えに、飛躍的な成長を遂げる2歳児の保育を存分に楽しみましょう。		保育の方法、食育、睡眠、排泄、記録と計画、遊びと環境、おもちゃや病気、ことばを育てる、友だちへの関心等、赤ちゃんから自己主張する子どもへと成長していく1歳児保育の基本理論と実践を、事例にそって学びましょう。		友だちとの関わりがより積極的になり、「他」の概念の確立が進み、社会性が広がっていく時期です。「じぶんでできる」ことを実感してくる3歳児。一人ひとりの個性を育てて活かす保育の援助を学びます。		特徴がつかみにくいと言われる4歳児保育のあり方を一緒に考えてみませんか。「甘やかす」わけでもなく、「背伸び」させるのでもない、4歳児にふさわしい実践を見つけていきましょう。				
5/20	0歳児の発達の特徴 一人ひとりの心と体の育ちをどう受け止めるか	堀 科 (東京家政大学准教授)	5/7	2歳時の心と体(運動発達)の育ち、その特徴 DVDや記録を基に、自我の育ち、葛藤、自律のめばえ、自己主張とわがまま等難しいといわれる2歳児との関わり、援助について。活発に動きまわる2歳児の脳と運動の関係	井桁容子 (非営利団体 コモエカ代表理事)	5/8	1歳児の発達の特徴と保育 心と体の発達を知り、保育実践へ	5/9	3歳児の発達と保育のおもしろさ これまでの発達の上にたつ3歳児の発達理解	5/17	新指針・要領と4歳児保育 改定(改訂)の要点を踏まえて保育所・幼稚園の実践を見直す	
6/3	0歳児と保育者の関係・心地よい生活とは 一保育者との信頼関係・愛着関係	工藤佳代子 (東京家政大学 ナースリールーム)	5/28	保護者とすすめる生活習慣の自立に向けて 日頃からの保護者との信頼関係をどのように築きながら、生活リズム・食事・排泄などの自立を共に促していくか。連絡帳の書き方、懇談会や個人面談の進め方など。	芦澤清音 (帝京大学教授)	6/5	1歳児の生活とその援助 生活のリズムと保育室の環境	5/30	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	6/14	4歳児の世界 発達の特徴と育ちの課題を考える	
6/24	0歳児の生活と養護・保育と教育 0歳児保育における教育とは何か	阿部和子 (大妻女子大学教授)	6/18	自発性を育む遊びと環境 夢中になって遊び、生活する中でどんな学びが育っているのでしょうか?いろいろな園の2歳児教室の保育環境を見ながら、環境を通しての保育の意味を確認しましょう。	清水玲子 (前帝京大学教授)	7/3	1歳児の社会性と自我の育ち 社会性が育つとは、保育士はどう関わるか	6/20	3歳児の生活をつくる 一日の生活の流れと保育環境 遊びが育てる感性と知性・楽しい遊びを創ってみよう 遊びのひろがりや「養護」への配慮	7/5	4歳児の遊びと援助(1) 環境構成のポイントを考える	
7/22	0歳児の健康と病気 最新の知見・病気の見方と対応	加古結子 (小児科医)	7/9	記録の書き方・評価の仕方 なぜ書くのか?子どもの姿をDVDで見ながら記録・評価を書いてみよう	藤田浩子 (語り手)	7/31	1歳児のわらべうたと手あそび 赤ちゃんを楽しめるわらべうたや手あそびのいろいろ	7/11	3歳児の生活をつくる 一日の生活の流れと保育環境 遊びが育てる感性と知性・楽しい遊びを創ってみよう 遊びのひろがりや「養護」への配慮	8/2	4歳児の遊びと援助(2) 遊びの展開と保育者のかかわり	
8/5	0歳児の遊びと環境 豊かな遊びを保障する環境・遊びで育つもの	工藤佳代子 (東京家政大学 ナースリールーム)	7/30	2〜3歳児の表現活動を子どもたちと一緒に楽しむ 絵本・劇あそび・ わらべうた・歌・楽器あそび・絵画や造形活動	岩井久美子 (赤の保育所/本木准教授)	8/28	1歳児の遊びと環境 育ちと遊びを保障する環境・現場からの問い直し	8/1	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	9/13	行事活動の展開と指導 共同・協力とクラスのまとまりを考える	
9/2	0歳児の食生活と食文化 実際の事例から学ぶ0歳児の食育	中原初美 (臨床栄養士)	9/3	言葉の発達と友だちとの関わり 多語文、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割/友だち関係が育つ道すじ、移動、トラブルへの対応など事例を通して学ぶ	清水玲子 (前帝京大学教授)	9/18	計画と記録 自分や園で立てた計画や記録を通してとらえ直す	9/12	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	10/4	生活の自立と自律 グループ活動・当番をどう進めるか	
9/30	家庭との連携と保護者支援のあり方 保護者との信頼関係・連絡ノート・子育て支援	工藤佳代子 (東京家政大学 ナースリールーム)	9/24	言葉の発達と友だちとの関わり 多語文、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割/友だち関係が育つ道すじ、移動、トラブルへの対応など事例を通して学ぶ	小野崎佳代 (東京未来大学)	10/9	家庭との連携と保護者支援 保護者との信頼関係・連絡ノート・クラスだよりの工夫	10/3	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	10/18	課題活動の展開と指導 好奇心を引き出す保育者の役割とは	
10/21	保育の評価と記録・計画 指導計画・個別計画と評価を考える	堀 科 (東京家政大学准教授)	10/15	言葉の発達と友だちとの関わり 多語文、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割/友だち関係が育つ道すじ、移動、トラブルへの対応など事例を通して学ぶ	岩田 力 (東京家政大学がせいの森のクリニック院長)	10/30	1歳児の健康・病気 病気の見方と対応を学ぶ	10/24	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	11/1	遊びの中の造形 4歳児が喜び造形活動のアイデア	
11/18	0歳児の絵本とわらべうた 0歳児と楽しめる絵本の選び方・わらべうた	金澤和子 (はくはくの園 子どもの発達研究センター)	11/5	言葉の発達と友だちとの関わり 多語文、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割/友だち関係が育つ道すじ、移動、トラブルへの対応など事例を通して学ぶ	こがようこ (絵本作家・語り手)	11/20	1歳児の絵本とはおなし 絵本の楽しみ方、おはなしの語り方	11/14	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	11/22	指導計画の立て方と評価の方法 実践の質の向上につながる保育者の保育活動とは	
12/9	保育の質の向上のために(まとめ) 0歳児の力・保育者の専門性	工藤佳代子 (東京家政大学 ナースリールーム)	12/3	言葉の発達と友だちとの関わり 多語文、従属文の発生、第二質問期、対話を促す保育者の役割/友だち関係が育つ道すじ、移動、トラブルへの対応など事例を通して学ぶ	芦澤清音 (帝京大学教授)	12/11	保育の評価とまとめ 保育者としての力量、自己評価などをとらえ直す	12/5	3歳児の発達と保育のおもしろさ 育ちを捉える保育者の目を確かなものに 3歳児保育のおもしろさ	12/13	家庭との連携 保護者支援のあり方とは	
保育の中の子どもの権利と実践		保育カリキュラムを問い直す		汐見絵幸保育教室 汐見絵幸 (東京大学名誉教授)		5歳児クラスの保育教室 島本一男 (八王子諏訪保育園園長)		同僚性を高めよりよい職場をめざす教室				
子どもの主体性を育てる確かな保育を創るために必要なことはどんなことでしょうか。子どもの力を信じることで、目の前の子どもを見つめる大切さ…保育実践の現場の中に様々なヒントが隠れています。日々の出来事を「子どもの権利」というキーワードで振り返ってみます。		保育におけるカリキュラムマネジメントの必要性が問われる中、保育カリキュラムの概念から、実際の展開過程まで、多様な視点から問い直す教室です。保育カリキュラムの理念と実際を、根本から問い直したい人におすすめます。		日本の子どもたちの心の育ちの危機、保育施設における保育者不足など、多くの困難を抱える今こそ、園のチーム力で子どもたちの育ちを守っていかねばなりません。今、副園長・主任・リーダー保育士の力量が求められています!		保育園の評価にも繋がる5歳児保育は、0歳児から始まる保育を繋げ、園全体の質の向上を目指すことです。卒園を迎える子どもの姿から自分たちの保育をイメージし、卒園までの一年が充実する実践のヒントをたくさん提供します。子どもが育つ保育の本質を考え、子どもの理解と保育のプロセス評価、マネジメントを学び、子どもの最善の利益を目指した主体的・対話的でより深い学びが出来る保育環境への思考を広げていきます。		保育の質を高めるためには、保育者同士の協力・連携が不可欠です。新人保育士とのコミュニケーションに悩んでいる、園内研修の効果的な進め方を知りたいといった声もよく聞かれます。こうした姿勢を高めるキーワードである「同僚性」を手がかりに、よりよい職場づくりの方策を見つけていきましょう。				
5/13	未来を見える子ども観 子どもの最善の利益ってなんだろう?!	近藤祥生 (白梅学園大学准教授)	5/14	園におけるカリキュラム・マネジメントの充実と確立 育ちの過程をいかに見て評価し、保育を構想し直す	副園長・主任・リーダー保育士	5/23	集団を意識した年間の個別指導計画を考える 5歳児の10の姿を意識して、就学へ	島本一男 (八王子諏訪保育園園長)	5/24	同僚性の意味と意義 よりよい職場づくりの基本を考える	師岡 章 (白梅学園大学教授)	
6/10	本気で「聴く」子どもの声 子どもが「悪い」を伝え「語る」ことの意味	青山 誠 (上野しずえの園 保育園園長)	6/25	教育のPDCAサイクルのよき循環のための指導計画や保育記録・保育評価 一援助のうち最も大事な「足場かけ」をめぐって	園長	6/6	主体的・対話的で深い学びの保育を考える 一対話的保育から子どもの素直さを学ぶ	6/21	保育者の同僚性を支える視点 キャリア形成の視点を踏まえた自己理解・他者理解	6/21	須藤麻紀 (東京立正短期大学)	
7/1	「とんでたバナナ」[グリーングリーン]の作詞家、片岡輝が語る 絵本に描かれた子どもの権利・保育者であることを誇れる実践 みんなが幸せになる保育とは何か	片岡 輝 (詩人、子どもの文化 研究所所長)	9/10	子ども理解のための理論を改めて考える 子ども理解から保育計画へ	園長	6/27	個の育ちと集団としての育ち 人間関係のひろがりやと協同する保育とは	6/19	語り相手、学び相手のいる職場 互いの文化を認め合う同僚性	7/19	折井誠司 (誠美保育園園長)	
7/29	保育現場の子どもの権利 身近なところから発見できる権利の視点	中瀬泰子 (おむすび保育園園長)	10/29	乳児保育におけるカリキュラム 何をいかに見通すのか・見通せるのか	園長	7/18	プロセスを評価する行事への取り組み 一意識を引き出す行事活動と評価を考える	7/20	保育者に求められる専門性を考える マネジメントの視点を踏まえた園内研修の計画と取り組み	9/20	須藤麻紀 (東京立正短期大学)	
10/7	子どもの権利条約と人権 保育者の専門性の中に必要な人権意識とは	中山利彦 (新橋せいかい子ども園 園長)	11/26	対話的保育カリキュラムの理論と実践 「対話する主体」を「対話的關係」で育てる保育の理論と実際を考える	園長	7/17	5歳児の対話的遊び環境を考える 人間関係を豊かにする遊び環境と保育内容	11/15	同僚性を高める方策 組織体としての園づくりを考える	11/15	師岡 章 (白梅学園大学教授)	
子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室		おはなしとわらべうたの教室 藤田浩子 (語り手)		明日の活力を生む保育の休憩室		新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室		加藤繁美保育教室 加藤繁美 (東京家政大学教授)				
地域と園が力を合わせて子どもの発達を支えるという視点から、様々な立場の人たちと子どもの姿を語り合い、共有することで見てとることがあります。各方面の専門家から職員同士のコミュニケーション、園と地域のコミュニケーションの重要性を語ってもらい園生活がさらに豊かになるヒントを見つけましょう。		子どもは遊ぶのが仕事です。その子どもの遊びを手伝うのが私たちです。とにかく楽しく遊びましょう。たくさん覚えましょう。年齢に合ったわらべうたや手作り小道具で遊びます。		日々の仕事に追われながらもホッとできる休憩室の話題が、明日の保育の活力になります。楽しく働くための視点、新しい考え、子どもの姿、高度な話題まで…。楽しい休憩室の話題から保育を深め、明日の保育を一緒に考えよう。		赤ちゃん学は最新の知見により大きく進み、その知見から乳児保育の実践が見直されています。赤ちゃんの視覚や感情、アタッチメントの科学的知見を学び、乳児の育ちや遊び等、新しい乳児保育の実践を学びます。		今年は「保育実践理論創造史試論」です。これまで世に問うてきた私の保育実践理論を、現在の視点で書くなら、どんな理論になっていくのか。これまで書いた書名タイトルで、保育実践理論創造の歴史を整理し直す1年としたい。				
5/27	本を真ん中に保育を語る 図書館の使い方～絵本から広がる保育のヒント	代田知子 (公立図書館館長(司書))	5/21	(0歳)あやし歌を歌う1(ひざにのせて)	5/29	今、求められるコミュニケーションとは 気持ちや通じ合う保育・力を引き出す保育とは	5/16	公開講座「子どもの心が育つということ」 遠藤利彦×井桁容子 (詳しくは裏面)	5/31	保育者と子どものいい関係	5/31	保育者
6/17	「楽しく食べる」が栄養になる 楽しい食事を職員間の連携から	可野倫子 (大妻女子大学講師・管理栄養士)	6/11	(0~1歳)あやし歌2(新聞紙をまるめて破いて)	6/19	幼児の描画表現 子どもの絵は子どものことば	6/13	発達と教育の関係を考える 子どもの発達とアタッチメントについて考える	6/28	子どもの自分づくりと保育の構造	6/28	保育者
7/8	保育の専門家と心理の専門家力が合わせる 保育臨床現場で見えてきたもの	青木紀久代 (お茶の水女子大学准教授)	7/2	(1~2歳)あやし歌3(わらべうた)	7/10	理系脳をはくくむ遊び 科学で遊び、本につなぐ	7/4	脳と身体の発達について考える アタッチメントが育む非認知能力とは	7/26	対話的保育カリキュラムの理論と構造	7/26	保育者
9/9	「まち」の中で育つ子どもたち 多世代で作る楽しいまち～おじちゃん・おばちゃん力	宮里和則 (NPO法人「おむすび」の代表・おむすびの園 園長)	7/23	(2~3歳)ストーリーで遊ぶ(体操人形・吹き矢)	9/11	赤ちゃん脳科学 赤ちゃんの「なぜ?」を解き明かす	7/12	保育・幼児教育の可能性について考える 保育士役割と可能性	9/6	子どもへの責任(社会の中の保育の課題)	9/6	保育者
10/28	みんなの力を信じる園と保育者 わらべうたに集う人々と子どもたち	鈴木まひる (和光保育所園長)	8/27	0歳から3歳までの遊びの復習	10/2	遊びの重要性～0歳～6歳までの発達の連続性 ユニセフの「はじめ」プロジェクト	10/31	保育・幼児教育の可能性について考える 保育士役割と可能性	9/27	対話と保育実践のフーガ	9/27	保育者
発達と支援を考える教室 橋場 隆 (臨床発達心理士+P/バイザー)		子どもと毎日を楽しむ保育者をめざす		映像から読み解く保育のまなざし		新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室		加藤繁美保育教室 加藤繁美 (東京家政大学教授)				
保育の中で困った、どうしたらいいんだろう…といった発達と関連した悩みは年々増えています。発達、障がいの基本をおさながら皆さんの悩みに答えていきます。		子どもたちの「個性」を認めながら、のびのびとした成長を確保できる環境について考えます。子どもを取り巻く環境が日々変化している中、子ども・保護者・保育者が孤立する現状も見えてきます。確かな子ども理解や心の余裕が毎日の保育を面白くします。保育の本当の楽しさを感じ、気づく教室。		子どもたちの日々の映像からどんな情報が読み取れるでしょうか。新人保育士も深くみる「まなざし」を持つことで発見や気づき、保育の面白さに出会えます。映像を見て、二人の先生の視点から学び、豊かな専門性を培いましょう。		赤ちゃん学は最新の知見により大きく進み、その知見から乳児保育の実践が見直されています。赤ちゃんの視覚や感情、アタッチメントの科学的知見を学び、乳児の育ちや遊び等、新しい乳児保育の実践を学びます。		今年は「保育実践理論創造史試論」です。これまで世に問うてきた私の保育実践理論を、現在の視点で書くなら、どんな理論になっていくのか。これまで書いた書名タイトルで、保育実践理論創造の歴史を整理し直す1年としたい。				
11/11	子どもを理解するための発達課題を考える 一乳児期から学童期に向けて	佐藤将之 (早稲田大学教授)	6/4	どんな子どもでも「気持ち」を育める環境づくり 一ゆつたりしたい、やってみよう…を応援する環境	9/4	子どもたちは生活の中で何を見て何を感じているか 遊びの中の学びとは何か	9/5	保育の専門性とアタッチメント 実践にむすびつけていくために	10/25	子どもと歩けばおもしろい	10/25	保育者
12/2	困った行動の背景とその支援 対応のポイントを具体的に考えていきます	芦澤清音 (帝京大学教授)	7/16	どんな子どもも幸せに過ごせる保育を考える 一まずは子ども理解から、そして保護者支援まで	10/16	優しさ・思いやりが育つとき(講義・グループワーク) 子どもの内なる育ちを読み取る姿勢と、語り合うことの重要性	10/17	脳と身体の発達について考える アタッチメントが育む非認知能力とは	11/11	保育を支える思想と哲学	11/11	保育者
12/16	保護者対応、保育士の役割を考える 子どもの最善の利益を考える	梅村 浄 (神戸市立鳴尾保育所 園長)	10/8	どんな子どもも当たり前に受け入れられるために 一こども診療所・ことばの相談室から見るもの	11/13	コミュニケーションとは何か 子ども同士のコミュニケーション	11/7	保育・幼児教育の可能性について考える 保育士役割と可能性	11/29	子どもと歩けばおもしろい	11/29	保育者
たにぞうのパラダイス運動会は、Aコース・Bコース詳しくは裏面に記載。 ★汐見絵幸×大豆生田啓友 4/24公開講座 ★遠藤利彦×井桁容子 5/16公開講座		裏面参照		子どもと毎日を楽しむ保育者をめざす		映像から読み解く保育のまなざし		新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室		加藤繁美保育教室 加藤繁美 (東京家政大学教授)		
保育の中で困った、どうしたらいいんだろう…といった発達と関連した悩みは年々増えています。発達、障がいの基本をおさながら皆さんの悩みに答えていきます。		子どもたちの「個性」を認めながら、のびのびとした成長を確保できる環境について考えます。子どもを取り巻く環境が日々変化している中、子ども・保護者・保育者が孤立する現状も見えてきます。確かな子ども理解や心の余裕が毎日の保育を面白くします。保育の本当の楽しさを感じ、気づく教室。		子どもたちの日々の映像からどんな情報が読み取れるでしょうか。新人保育士も深くみる「まなざし」を持つことで発見や気づき、保育の面白さに出会えます。映像を見て、二人の先生の視点から学び、豊かな専門性を培いましょう。		赤ちゃん学は最新の知見により大きく進み、その知見から乳児保育の実践が見直されています。赤ちゃんの視覚や感情、アタッチメントの科学的知見を学び、乳児の育ちや遊び等、新しい乳児保育の実践を学びます。		今年は「保育実践理論創造史試論」です。これまで世に問うてきた私の保育実践理論を、現在の視点で書くなら、どんな理論になっていくのか。これまで書いた書名タイトルで、保育実践理論創造の歴史を整理し直す1年としたい。				
11/11	子どもを理解するための発達課題を考える 一乳児期から学童期に向けて	佐藤将之 (早稲田大学教授)	6/4	どんな子どもでも「気持ち」を育める環境づくり 一ゆつたりしたい、やってみよう…を応援する環境	9/4	子どもたちは生活の中で何を見て何を感じているか 遊びの中の学びとは何か	9/5	保育の専門性とアタッチメント 実践にむすびつけていくために	10/25	子どもと歩けばおもしろい	10/25	保育者
12/2	困った行動の背景とその支援 対応のポイントを具体的に考えていきます	芦澤清音 (帝京大学教授)	7/16	どんな子どもも幸せに過ごせる保育を考える 一まずは子ども理解から、そして保護者支援まで	10/16	優しさ・思いやりが育つとき(講義・グループワーク) 子どもの内なる育ちを読み取る姿勢と、語り合うことの重要性	10/17	脳と身体の発達について考える アタッチメントが育む非認知能力とは	11/11	保育を支える思想と哲学	11/11	保育者
12/16	保護者対応、保育士の役割を考える 子どもの最善の利益を考える	梅村 浄 (神戸市立鳴尾保育所 園長)	10/8	どんな子どもも当たり前に受け入れられるために 一こども診療所・ことばの相談室から見るもの	11/13	コミュニケーションとは何か 子ども同士のコミュニケーション	11/7	保育・幼児教育の可能性について考える 保育士役割と可能性	11/29	子どもと歩けばおもしろい	11/29	保育者
たにぞうのパラダイス運動会は、Aコース・Bコース詳しくは裏面に記載。 ★汐見絵幸×大豆生田啓友 4/24公開講座 ★遠藤利彦×井桁容子 5/16公開講座		裏面参照		子どもと毎日を楽しむ保育者をめざす		映像から読み解く保育のまなざし		新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室		加藤繁美保育教室 加藤繁美 (東京家政大学教授)		